

# 国保税の市独自減拡充を「要綱見直す」と答弁

佐々木智子



佐々木智子  
市議は、国民健康保険税の負担が重過ぎ

て、払いたくても払えないという市民が増加していることから、国保加入の低所得世帯への独自減免の拡充を求めました。



いきいき健康部長は、減免取扱要綱を見直して、非自発的失業者への軽減（国制度）に該当しない従前からの国保加入者で非自発的失業に準ずる世帯や、病氣、けが、介護等で就労困

難な世帯への新たな基準をつくり、国保税の軽減・減免をおこなうと答弁しました。  
一方で、昨年十月から一年間、新型インフルエンザ緊急対策で発行が中止されていた資格証は、九月末で元に戻すとなりました。

「車いすでも気軽に外出できる町田を」の問いには、小田急町田駅第一踏み切りの地下道と西側デッキにエレベーターを設置している、ごみ減量対策については、プラスチック圧縮実験の結果を分析し、審議会のなかで廃プラのあり方・方向性を示していきたいと、各担当部長が答えました。

# 保育園の待機児ゼロを鶴川駅東口交差点に信号を

池川友一



池川友一  
議は、子どもたちの保育環境充実について

て質問をおこないました。「認可保育所の増設で待機児ゼロの実現を」とりわけ、待機児全体の88%をしめる3歳未満児（0～2歳）対策について求めたのに対し、「20年間期間限定認可保育所や、増築や分園で対応したい」という答弁でした。

保育園の耐震工事の早期実施、「未婚の母」でも寡婦控除を適用し保育料の減免制度を受けられるよう求めました。  
学童保育クラブの大規模解消を求めた質問に対しては、木曾境川学童の増築は示されました

が「まずは71人以上の大規模解消をおこなう」という答弁をくり返し、今後は「検討していく」としか語りませんでした。

鶴川駅前の交通渋滞解消を求めた質問には、「市としても対策が必要と考えている」という認識が示されました。

「鶴川駅東口交差点の歩道橋のあった場所に信号と横断歩道がなく危ない。改善を」と求めたのに対して、「工事は来年度予定だが、都に要望する」と答弁がありました。また、鶴川駅前のロータリーに時計設置、駅南口に交通広場実現を求めました。



# 沖縄に基地はいらぬ！連帯のメッセーヂを市長何も答えず

殿村健一



殿村健一市議  
は、最大の政治的焦点になっている米海兵隊普

天間基地問題について、壇上から「普天間基地」と「4・25沖縄県民大会」の大判パネルを示し、市長に対して「普天間基地の無条件撤去を求める沖縄県民のみなさんに連帯のメッセーヂを送ってはどうか」とたどしました。  
市長は、担当部長に「国の責任だ」と答弁させ、自身は何も答えませんでした。

住民の方から要望が寄せられていた「原町田大通り」の中央分離帯のクルメツツジの植栽が雑草で覆われている問題で、管理の改善を求めたところ、クルメツツジの開花の前に除草をおこなうとの答弁がありました。

「乳がん検診年齢の拡大」（70歳以上）について、3月議会の佐々木智子市議に対する答弁「検討する」は、事実を照らしておかしいのではないかとたどしました。  
佐々木市議の質問の2日後に発行された広報（4月1日付）に「7月から実施」の記事が掲載されたからです。この問題をたどし、答弁を適正におこなうよう求めました。

また、市長の政治資金パーティー事件について、「手帳の改ざん」問題は、どのように「決着済みか」とたどしました。市長は、「市長選の当選で決着済み」（3月議会）との答弁をくり返し、反省はありませんでした。

日本共産党  
街頭演説

7月3日 土 小池あきら  
11時30分 / 町田駅・丸井前



無料 法律相談

7月14日 水 午後2時  
7月28日 水  
町田市役所5階 日本共産党控室  
※事前に、予約を入れてください。042 (723) 6312  
もしくは、各市議会議員までご連絡ください。